



YANMAR

News Release

2022年12月22日

ヤンマーアグリ株式会社

## 東京都が推進するバイオ燃料活用の取り組みに トラクターを提供



<トラクター「YT120」「YT345J」>

ヤンマーホールディングス株式会社のグループ会社であるヤンマーアグリ株式会社(本社:岡山県岡山市、社長:増田長盛、以下YAG)は、ゼロエミッション東京の実現に向けて東京都が進めているバイオ燃料活用の取り組みにトラクターを提供します。

東京都は電力のHTT(H:減らす・T:創る・T:蓄める)を推進しており、環境にやさしいバイオ燃料の活用推進と普及を目的として、さまざまなモビリティにおけるバイオ燃料の活用に取組んでいます。今回のトラクター提供は、東京都と株式会社ユーグレナが締結した協定に基づいた取り組みに対するもので、YAGは公益財団法人東京都農林水産振興財団へトラクター「YT120」、「YT345J」の2台を提供します。2台のトラクターは、株式会社ユーグレナが製造・販売するバイオ燃料「サステオ」を使用し、公益財団法人東京都農林水産振興財団・東京都農林総合研究センターで活用されます。

### ■取組の概要

期 間:令和4年12月22日(木)から令和5年3月上旬まで

納入場所:東京都農林総合研究センター内圃場(東京都立川市富士見町)

### <バイオ燃料「サステオ」について>

「サステオ」は、株式会社ユーグレナが製造・販売する次世代バイオ燃料で、使用済み食用油や微細藻類ユーグレナ(和名:ミドリムシ)から抽出した油など、食料との競合や森林破壊といった問題を起こさない持続可能性に優れたバイオマス原料からつくられています。「サステオ」は燃料の燃焼段階では通常の軽油と同じようにCO<sub>2</sub>を排出しますが、原料となる植物や藻類が、成長過程の中で光合成によりCO<sub>2</sub>を吸収するため、燃料を使用した際に発生するCO<sub>2</sub>の排出量が実質ゼロとなるカーボンニュートラルの実現に貢献すると期待されています。

### <ヤンマーについて>

1912 年に大阪で創業したヤンマーは、1933 年に世界で初めてディーゼルエンジンの小型実用化に成功した産業機械メーカーです。「大地」「海」「都市」のフィールドで、産業用エンジンを軸に、アグリ、建機、マリン、エネルギー・システムなどの事業をグローバルに展開し、お客様の課題を解決するソリューションを提供しています。ヤンマーは“A SUSTAINABLE FUTURE-テクノロジーで、新しい豊かさへ。”をブランドステートメントに掲げ、次の 100 年へ向けて持続可能な社会の実現に貢献していきます。

詳しくは、ヤンマーのウェブサイト <https://www.yanmar.com/jp/about/>をご覧ください。

### <注記>

記載されている内容は発表時点のものです。最新の情報とは内容が異なっている場合がありますのでご了承願います。

---

### 【報道関係者お問い合わせ先】

ヤンマーホールディングス株式会社

ブランド部コミュニケーション部 広報担当

E-mail: [koho@yanmar.com](mailto:koho@yanmar.com)